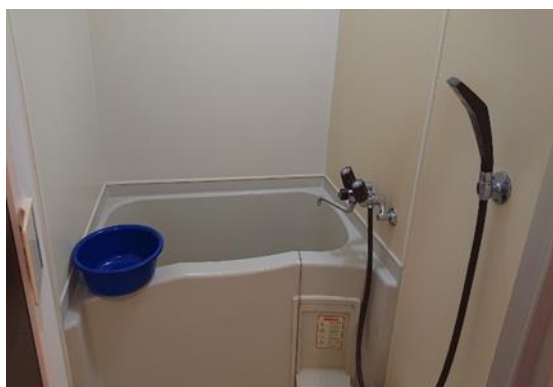


2020 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんおかやまにゅうきょしえんせんたー	
団体名	特定非営利活動法人おかやま入居支援センター	
代表者名	井上雅雄	
連絡先	住所	岡山市北区広瀬町 2 - 1 1
	TEL	0 8 6 - 2 3 0 - 1 0 5 6
	E-mail	jimukyoku@okayama-nyukyoshien.org
	URL	https://okayama-nyukyoshien.org
設立年（西暦）	2 0 0 9 年	
助成活動名	緊急避難先や自立支援の機能をもつシェルターの広域化を図り、かつ、居住生活支援スペースの安全を確保する事業	
助成額	2,500,000 円	
活動内容	目的	住宅確保が困難な方に寄り添い、個人毎に支援ネットワークを形成して、その居住を支援する。特に、シェルターの数が少ない倉敷エリアにおいて緊急で居住場所の提供を求めるニーズに対応する。住宅確保だけでなく、住宅確保後の子育て支援や引きこもり支援のためのスペースを安全な形で提供する。虐待対応・自立支援だけでなく、災害にも強い安心して暮らせる街づくりを県下全域に広め、法人間のネットワークを強化して、シェルター機能を強化する。
	内容	相談支援・物件探し・ケア会議参加・シェルターの確保と提供を行った。成年後見人が管理している空き家について、家庭裁判所の許可を得て賃貸し、改修を行ってシェルターとして活用できるように準備を行った。博士の家の庭のブロック塀を改修し、倒壊の危険を除去し、庭を子どもが遊べる場所に変えて、子育て支援に活用した。成年後見人が管理している空き家を賃貸して改修することにより、災害対応にも使える形で整備することができた。 刑務所出所者に対して、シェルターで物件を賃貸した後、同物件を本人が直接に賃貸することを支援した。転居に際して行き先を失った精神障がい者にシェルターを提供した。ひきこもりの若者に対して、シェルターを活用して、就労支援機関と協力して支援した。精神科病院からの退院に向けてシェルターを活用して自立訓練を行い、無事、退院することができた。車上生活をしていた高齢者の男性にシェルターを提供して、アパート入居を支援した。
	成果	居住支援活動により、住宅確保要配慮者を支援することができた。シェルターの活用により、緊急対応・自立応援・退院促進・再犯防止・虐待対応・ホームレス支援の効果があつた。成年後見人管理空き家の活用事例を作ることができ、空き家対策にも貢献することができた。安全な庭を提供することにより、子育て支援に居場所を提供することができた。 反省点：新型コロナの影響で、連携支援が困難であった。
今後の課題と対応策	シェルターの空き情報をどの範囲で共有していくか。シェルター運営ノウハウを提供する先を拡大する。シェルターの利用方法を広く PR していくこと。成年後見人管理空き家の改修費の捻出方法を検討すること。 新型コロナのような危機対応にシェルターを十分に活用していくための方策を検討する。新型コロナの影響でネットワーク形成の会議が十分に行えなかったため、今年度は、関係機関との協力体制を強めて、シェルターや被災者（平成 30 年西日本豪雨災害の仮設住宅入居者など）の転居支援を充実させる。	

シェルターA (倉敷市)



シェルターB (倉敷市)



写真の提出